

kuro-ibushi

和の機能美をそのままに、安らぎをつなぐ。



傷が付きにくい

吸水率6%以下

耐寒冷地仕様

400年にわたる淡路瓦は、良質の粘土を活かした屋根瓦です。

「黒燻」は極限まで高温で焼き締めることで、高い強度を持った瓦と進化しました。

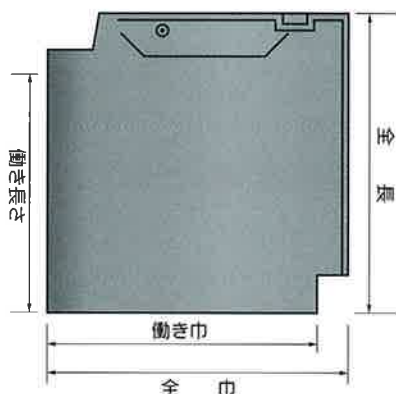
自然環境で生まれた粘土の性質と長年の経験による焼成技術により「いぶし」を超えた「黒燻」へ。

今までにない表面質感の美しい味わいと高い強度を持った新しい屋根瓦です。



黒 KURO-IBUSHI 燻

仕様 Specifications



全長	約297mm(±4mm)
全巾	約297mm(±4mm)
働き長さ	約230mm(±4mm)
働き巾	約259mm(±4mm)
重量	約2.9kg
必要枚数	約55枚/坪

※その他、各種サイズ(判)もごさいます。



製品ご利用に際してのお願い・ご注意

瓦は、天然原料である自然の粘土を原料とした焼成品です。粘土は採取場所により、その成分・性質は微妙に異なり、また同一場所の採取でも全く均一ではありません。このように瓦は原料自体が均質化された工業原料ではなく、自然から生まれた生きた粘土を使うため、それ自体が機械化に向くようにはできておらず、科学的な管理が難しい焼成品です。

日本の瓦は、約千年以上前から作られてきましたが、製造技術・焼成技術が飛躍的に進歩し大量生産できるようになった現在でも「瓦は天然原料を使った自然素材である」ことをご理解いただき、その特性をあらかじめご承知おきください。

1 製品に関するお願い (粘土瓦の特性について)

- 粘土成分の違いや気圧など気象条件による焼成炉内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。
- 焼き物特有の若干のネジレや寸法のバラツキがある場合があります。また、瓦は重ね合わせて施工していきますので、葺き上げ後に瓦と瓦の間にスキマが発生する場合があります。
- 施工後、日焼けによる色あせやホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- いぶし瓦は、経年の変化による黒ずみなどの色変化が発生する場合がありますが、これは自然素材であるいぶし瓦特有の現象であり、品質の劣化を伴うものではありません。
- いぶし瓦は、粘土に含まれる鉄分が瓦表面にある場合、雨水により点状の赤錆が発生する場合がありますが、これは品質的な劣化ではなく、表面層での一時的な現象です。
- 強風雨時等には、瓦のスキマからしぶきが入り込む恐れがありますので、下地材の適正な施工が必要です。
- 製品は、改良のため予告なく変更する場合があります。

2 安全に関するご注意 ⚠

- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要ですので、専門施工業者にご相談ください。施工に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
- 積雪地域・強風地域で粘土瓦を使う場合は、特殊な工事を必要とする場合がありますので、必ず専門施工業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する標準施工仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦は割れものの為、運搬・開梱・積み上げにご注意ください。



日本工業規格適合性認証取得

栄和瓦産業株式会社

〒656-0306 兵庫県南あわじ市松帆慶野1136 TEL0799-36-3995(代) FAX0799-36-4478

URL : <http://www.eiwakawara.com/> E-mail : info@eiwakawara.com



ISO 9001:2008
RQ 1868